

收藏資料  
調查報告書

8

戦争関係資料

2006. 3

宇治市歴史資料館

「収蔵文書調査報告書」改め

# 収蔵資料 調査報告書

## 8

### 戦争関係資料

宇治市歴史資料館では、昭和59年(1984)の開館以来、関係資料の収集に努めて参りました。当初は閑散としていた収蔵庫も、今では多種多量の資料で一杯です。

「収蔵文書査報告書」として平成9年度から刊行を開始した本シリーズは、そんな資料の内、古文書を対象に7冊を数えました。8冊目となります本書からはタイトルも「収蔵資料調査報告書」と改め、古文書はもちろんのこと、より幅広い資料の紹介に努めてまいります。

当館の資料収集事業に対しまして、より一層のご協力をたまわりますよう、お願い申し上げます。

平成18年3月

宇治市歴史資料館

#### 目次

- 1 戦争関係資料の概要 . . . . . 1
- 2 資料目録 宇治市平和都市推進協議会寄託資料 . . . . . 3
- 3 資料目録 館蔵戦争関係資料 . . . . . 11

# 1 戦線関係資料の概要

## ■資料収集の経過

平成17年(2005)は、戦後60年の節目にあたることから、宇治市平和都市推進協議会の主催により当館展示室を会場に「戦後60年 戦時下の暮らし展」が開催された。

同協議会は、昭和37年(1962)に設立され本市における平和啓発活動の中心をになってきた団体で、現在は宇治市長を会長に16団体で構成され、事務局は総務部総務課におかれている。例年の主な活動は下記のとおり。

- 1) 子どもたちに戦争の悲惨さと平和の大切さを学習してもらうため、被爆地広島・長崎と国内で唯一の地上戦が行われた沖縄へ、毎年一ヵ所ずつ順番に小・中学生訪問団を派遣
- 2) 毎年8月15日に市役所前に建立されている「平和の像」・「平和の鐘—祈り—」のもとで平和祈念集会を行うとともに、同時期に「市民平和の集い」として平和写真展など関連事業を開催

また節目の事業として、戦後50年にあたる平成7年(1995)には「戦争・被爆遺品展」を開催した。本展では、広島平和記念資料館(原爆資料館)提供の被爆遺品とともに、広く市民の皆さんに呼びかけて提供いただいた戦争関係資料を展示した。戦後55年にあたる平成12年(2000)にも同様に「戦争遺品展」を開催しており、先述の「戦後60年 戦時下の暮らし」展が三回目にあたる。それぞれのあらまは下記のとおり。会場は、いずれも当館展示室である。

### 1) 「戦争・被爆遺品展」

会期：平成7年(1995)8月5日～15日

広島平和記念資料館提供の被爆遺品と市民提供の戦争遺品を展示。

### 2) 「戦争遺品展」

会期：平成12年(2000)7月21日～9月10日

前回分に新たに提供いただいた戦争遺品を加え展示したほか、「長崎原爆被災展」(8月1日～6日 資料提供：長崎原爆資料館、財団法人長崎平和推進協会と共催)と「沖縄戦争被災展」(8月10日～20日 資料提供：沖縄県立平和祈念資料館)を併催。

### 3) 「戦後60年 戦時下の暮らし展」

会期：平成17年(2005)7月23日～9月11日

前回までの分に新たに提供いただいた戦争遺品・日用品を加え展示した。今回は、直接戦争に関するもののほか、生活に使われた道具類も含めて提供を呼びかけ、当時の暮らしぶりをイメージできるように展示した点に特色がある。



